

英知通信

発行
英知大学
兵庫県尼崎市若王寺
2-18-1 (〒661)
TEL (06) 491-5083
編集
英知大学
国際交流委員会

1983. 5. 17

UNIVERSITAS SAPIENTIAE

ローラス大学との

姉妹校提携正式調印式迫る

(五月二十六日)

この度、かねてより姉妹校として交流を続けていた米国アイオワ州のローラス大学より、副学長と外国語学科長が英知大学を公式訪問することになり、その際に、当大学において両大学の姉妹校の正式調印式が挙行される運びとなった。調印式は五

月二十六日(木)、午後三時より行なわれ、当日は、理事長、学長を始め、多数の教員や関係者の出席が予定されており、この記念すべき式典に学生達もできるだけ多数参加することが望まれている。

ローラス大学

学長の横顔

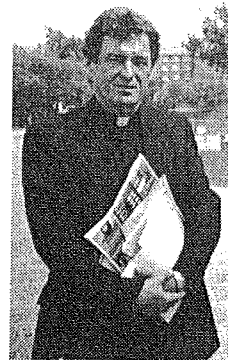


◇ ディ・パスクワレ学長
(Dr. Pasquale Di Pasquale, Jr.)

一四〇年以上の歴史のあるカトリック教会経営のローラス大学で、一九七七年に、初めての司祭でない学長として選ばれたのがこの学長である。この事実からも十分に推察のつく通り、

ローラス大学

調印式出席者の横顔



◇ バータ副学長
(Rev. James O. Barta, Ph. D.)

副学長。教務部長。心理学および教育学教授。デュビューク教区のカトリック司祭。

温和で凛しいジェントルマンであり、敬虔なカトリック信者である。この長い名前はイタリア語で「復活の復活」という意味。専攻は英語学。それにしても、どこかでお目にかかったことのある顔のようだが……

ローラス大学の卒業生でもあるバータ神父は一九五七年より同大学に奉職しており、母校をこよなく愛し、喜んで毎日の

英知大学——ローラス大学

姉妹校提携調印式

日時：昭和58年5月26日(木) 3:00pm

場所：学生会館2階

1. Fr. Barta & Dr. Wittine

紹介

2. 学長挨拶

3. 調印

4. (吹奏楽部演奏)

5. ローラス大学代表者挨拶

(各20分のスピーチ)

6. (邦楽部演奏)

忙しい仕事をこなしているようである。英知大学との窓口の最高責任者として、当初より英知大生の留学や研修旅行の受け入れに尽力して下さっている。大柄なバータ神父は愉快で陽気であるが、少しはにかみ屋のところもあり、音楽の好きな美声の持ち主である。



◇ ウィティン外国語学科長
(Dr. Alfred J. Wittine)

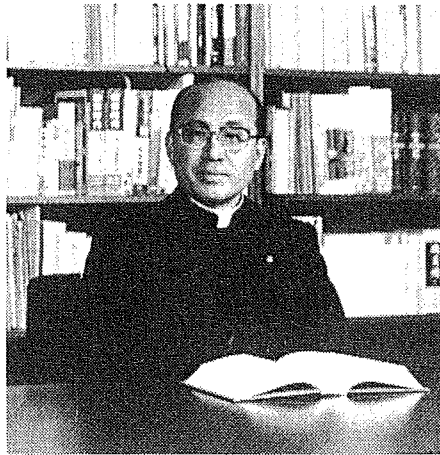
現代外国語学科長。ドイツ語およびスペイン語担当の助教授。

外国からの留学生の受け入れに関する実務責任者であるウィティン先生は、英知の学生がローラス大学でお世話になる時も常に宿泊のお世話を下さっている。また、英知から研修旅行で行く時には、全ての授業の手配から見学コースの手配までして下さり、しばしば、自らバンを運転して学生達を案内して下さる。大学より徒歩二、三分の家では、美人の奥方とかわいい子供(一男一女)が待っているダンディーな先生である。

ローラス大学との交流の発展を願って

学長 傘木 澄男

このたび姉妹校ローラス大学から副学長バクタ神父様並びにウイティン博士をお迎えして、親しく本学を見ていただくと共に、両大学の姉妹校関係を正式に固める調印式を行うことは、私共英知大学の教職員学生一同にとり、ま



ことに喜びがあります。本学はお二方を心から歓迎いたします。私は一九八一年の夏松本信愛先生と共に初めてローラス大学を訪問し、学長先生はじめ諸先生方並びに学生の方々からこの上ない歓迎を頂いたこと

た本学教員学生はもとより、両大学の交流を喜び、その発展を願う本学の一同と共に感謝の気持ちで一杯です。

ローラス大学は本学と同じく、教区立のカトリック大学で、建学の精神をはじめ、少人数制教育・親密な共同体精神のなほ、出ます学園の雰囲気もよく似ていて、よその大学、外国の大学とは思えないような親しみを感じます。美しい自然に恵

まれた、米国のハートランドと言われる中西部の都会デュービュー市はカトリック色の濃い落ち着いた学園都市で、しかも全米で一番と思われる美しい気品のあるアメリカ英語が話されているという、あらゆる点で安心して学生を送れる土地柄であることは私共にとり何れも恵まれ

たことです。

人間の基本的な営みであり万国共通の言葉である家族、家庭生活を通して異文化の人々が互いに知り合い、「人間性」は一つ。人間皆兄弟」ということを肌で知ることほど、人間形成上貴重で効果的な体験はありません。そのためのホームステイが毎年ローラス大学の並々ならぬご好意とご努力によつて最高の条件で実施されておりますことはまことに有難いことです。交流とはいえ今までは本学が一方的に受けるだけでしたが、今後は本学としてもローラスの皆様のために何かお役に立てることはな

いかな、皆で考えていきたいと思

交流の経緯

英知大学ーローラス大学



一九七二年(夏) 岸前学長、アメリカ、カナダを訪問、十一の姉妹校を選定し、交流開始。

一九七九年 より充実した交流を期待して、十一校中三校を選び、詳細な資料をもとに最適校としてローラス大学を選ぶ。

一九八〇年 ローラス大学との事務的連絡の開始。

一九八一年(夏) 傘木学長、松本前学長、ローラス大学公式訪問。

帰国後、海外留学及び研修旅行等の充実を計るために「国際交流委員会」を設立。(委員長・松本、

委員・井勢、芝垣、沼野の各先生)。

一九八二年(春) ローラス大学にて第一回研修旅行実施(教員一名、学生九名)。

同年(夏) ローラスにおける夏期講座を三名の英知大生が受講。その中の一名は、秋学期に正規留学生として修学。(英知の代替科目をローラスにて全て履修し、一九八三年三月に同級生と共に無事卒業)。

一九八三年(春) ローラス大学にて第二回研修旅行実施(教員二名、学生十六名)。

同年(五月) バクタ副学長、ウイティン外国語学科長英知大学公式訪問。姉妹校正式調印の運びとなる。



ローラス大学紹介



Loras College
Dubuque, Iowa 52001, U.S.A.

ローラス大学は米国アイオワ州のデュビュークという市にある。デュビューク市は、シカゴから西へ車で約四時間、すぐ傍をミシシッピ河が流れている人口約六万五千の市で、三つの大学をはじめ多くの学校と教会のある情緒豊かな市である。ローラス大学はそのデュビューク市の小高い丘の上に建っており、ゆったりとしたスペースの学内はとても美しい。

一八三九年創立という同大学はさすがに内容が濃く、専門課程には英語、スペイン語、フランス語をはじめ、

経済、歴史、宗教、音楽、ジャーナリズム、あるいはコンピュータ科学、物理等三十三のコースがあり、学内の五つの寮と共に勉強する為の環境はとてますばらしい。

ローラス大学は、英知大学と同じカトリックの教区立の大学で学生数も一七〇〇名程であり英知の姉妹校としてほうつつけの大学である。

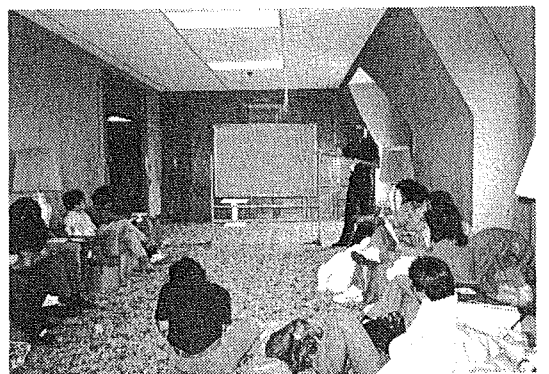
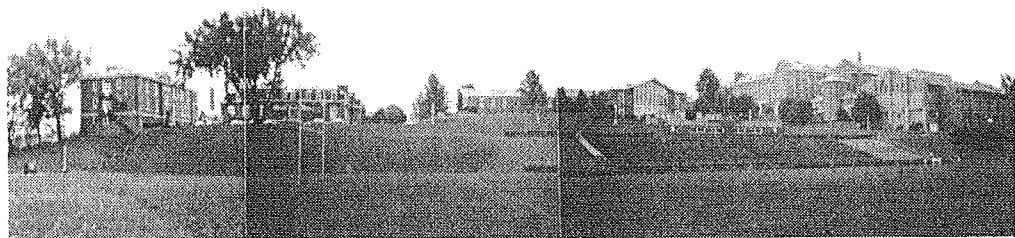
一四〇年以上の長い伝統は、ローラスに多くの秀れた卒業生を生み出してきている。彼等の母校を思う気持が、多くの寄付行為を生み出し、ローラス大学にはそ

ういった種類の施設が多く見られる。大学の心臓とも言えるチャペルにしてもそうだし、頭脳ともいえる図書館もその例にもれない。昨年施工した堂々たる、体育館が最も新しく寄付された施設で、室内プール、室内トラック、各種球技施設で学生達は体力の増強をはかっている。健全な肉体に健全な

精神を地で行くこの態度は、大学当局が全学生に積極的に求めているものなのだ。学内の学生達の

雰囲気もとてもよく、全く知らない学生達の殆んどが気持よく挨拶してくれる。留学または研修旅行等でローラス大学に滞在した英知大生は異口同音に滞在家中庭や大学側のホスピタリティのすばらしさを称えている。

ローラス大学のスタッフ、教授、事務員達も積極的に我々を後押ししてくれており、今後、教授間の研究上の交流を始め、相互の講師派遣等も検討されている。



差し当たって、来年度、ローラス大学では日本語講座の開講を予定しており、現在のところ本

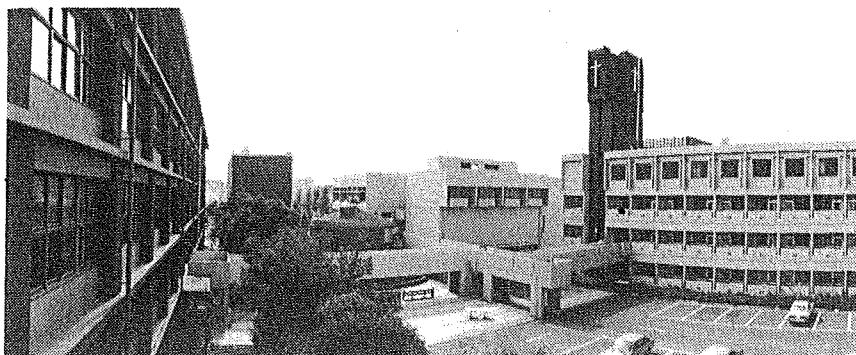


学からの講師の派遣にかかっている。

ローラス大学調印式出席者日程表

- ㊦(火) 6:45pm 大阪空港到着
- ㊦(水) (フリー)(学内及び近隣見学)
- ㊦(木) 授業参観
(昼、チャペルにて英語の御ミサ)
- 3:00pm 調印式
- ㊦(金) 京都見学
- ㊦(土) 奈良見学
- ㊦(日) 教会訪問
- 3:00pm ローラス大学研修旅行参加者及び希望学生との集い。
- ㊦(月) 大阪見学
- ㊦(火) 東京へ出発

This Is Eichi



Catholic University

Eichi University is a Catholic University founded by the late Cardinal Paul Y. Taguchi, Archbishop of Osaka in 1963 and recognized by the ministry of Education of Japan. The University has a school of Liberal Arts consisting of four departments; Theology, English, Spanish and French Literature. At present approximately 1,000 students are enrolled. Eichi University is one of many outstanding universities in and around Osaka, the second largest city in Japan.



Our Uniqueness

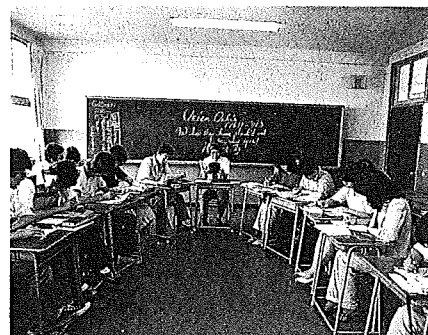
In Japan there are eleven Catholic universities, three of which are coeducational; Sophia University in Tokyo run by Jesuits, Nanzan University in Nagoya by Divine

Word Fathers and Eichi University by Osaka Diocese. There are also some thirty Catholic junior colleges in Japan. In spite of the small population of the Catholics (i. e., 0.4% of the Japanese), the reputation of those Catholic schools has been getting higher and higher mainly because of their unique educational system based upon Catholicism.

In Eichi, even in teaching literature, the question of "how to live" is brought out in conjunction with the question of "how to live eternally." Furthermore, students can always freely meet the priest-teachers and discuss the problems of life and their personal affairs with them. As a matter of fact, there are twenty-four priests (ten missionary priests and fourteen diocesan priests) and two nuns among fifty-three full-time members of the whole faculty. One of the fourteen diocesan priests is Fr. Augustine S. Kasagi, third president since 1979, who had studied at St. Mary's Seminary, Baltimore, and ordained there in 1963.

Faculty Members

Eichi University campus is internationally colorful. Among the professors are many foreigners, which is not so often to be seen in Japan. They come from the United States of America, West Germany, France, Ireland, Hungary, Belgium, Spain and Italy. This means a lot to the students, for by associating with those professors, they come to understand the culture and language of various countries, and their eyes are widened in appreciating the world civilization.



Family Atmosphere

Visitors are entertained in the friendly atmosphere of the campus. Quite often contrary to the mass production of larger universities, our classes and seminars are conducted in a family-like atmosphere. Just like many Mid-western towns of the States, everybody knows everybody at Eichi University.

